



みなみっ子

3月の生活目標：「 1年間のしめくくりをしよう 」

NO. 24

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

6年生と過ごすのも、あとわずかです

先週は、晴れの日が続き、休み時間になると子どもたちは校庭でドッジボールやサッカーをしたり、おにごっこをしたり、縄跳びをしたりと楽しんでいます。6年生と一緒に遊ぶ1年生の姿も見かけます。

6年生は、あと少力で卒業です。1年生から5年生は、休み時間や掃除の時間など、6年生と一緒にたくさんの思い出を作してほしいと思います。

あと6日で、「ずっと頼りにしていた わたしたちのリーダー」が卒業します。



今週の土曜日、3月19日には6年生とのお別れ式があります。卒業式に参加できない1~4年生を含めた全員が、6年生とお別れをする式です。6年生に、これまでの感謝と卒業おめでとうの気持ちを伝えます。

創立40周年の部屋



◎創立40周年記念植樹をしました

創立40周年を迎えた今年度、高知県森と緑の会の「学校環境緑化モデル事業」を活用して、通学路の樹木の伐採等を行ってきました。

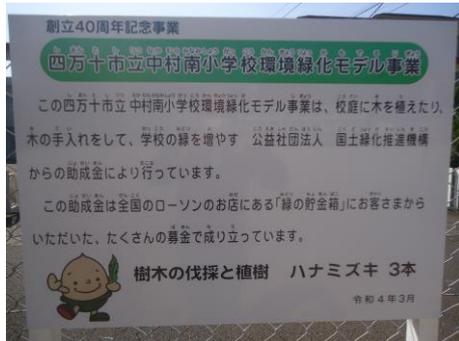
3月8日には、この事業の最後の取組になる創立40周年記念植樹を行いました。



記念植樹として、児童会の役員が、ハナミズキ3本を校庭に植樹しました。記念式典には、高知県森と緑の会の関係者、ローソンの関係者のみなさんにも参加していただきました。

ハナミズキが、校庭で、これから何十年も咲き続けてくれることを願っています。

ローソンから、「ローソン学習帳」をいただきました。今日、全児童に配布します。大切にしてください。

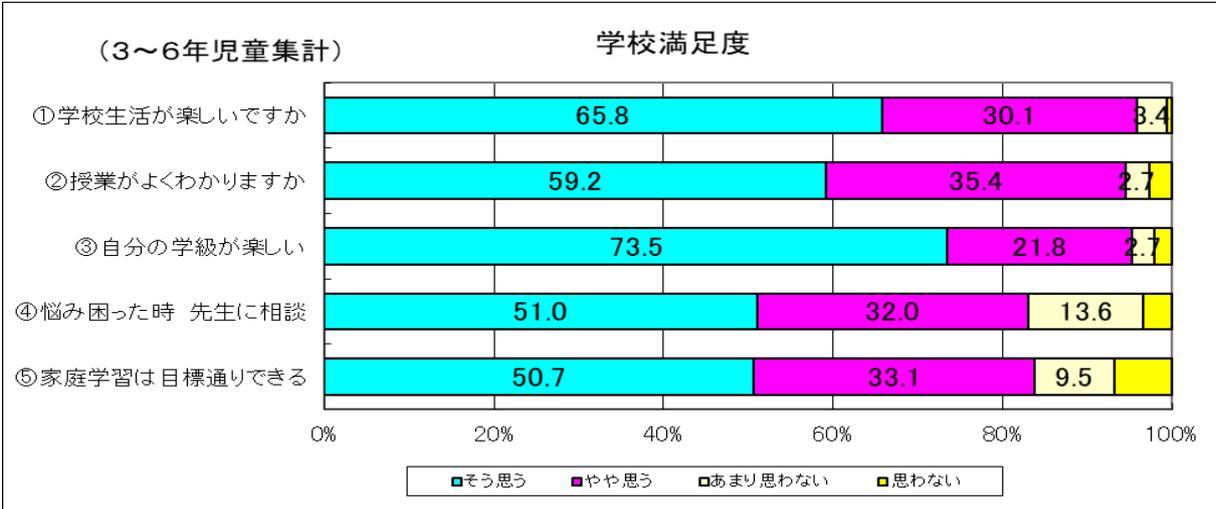


なお、来年度の最初の参観日に、「緑の募金」の募金箱を受付にしております。ご協力いただける方は、ぜひご協力ください。

学校評価アンケートの結果

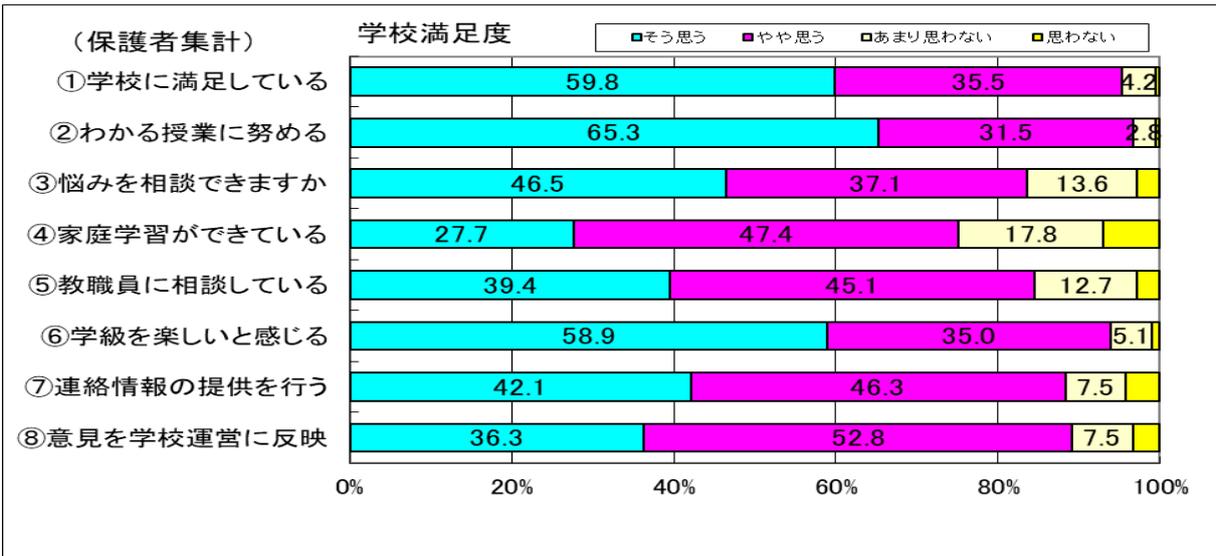
学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者や地域の方々から頂いた評価を、今後の取組に生かしていきたいと思いをします。

学校満足度について 《3～6年生児童対象の質問内容》



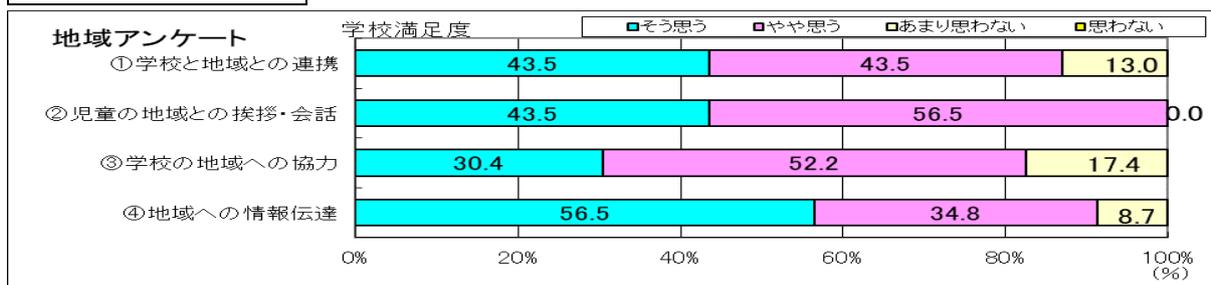
昨年度と同様、今年度についても全項目80%以上の肯定的評価となっています。特に、項目①、項目②、項目③については、ほぼ95%と高い結果となっています。学級担任を中心とした日々の教育活動に子どもたちがほぼ満足はしていると考えますが、項目④の悩みや困った時先生に相談できるは、今後、常に児童との信頼関係を大切にされた教育活動を展開するよう意識して取り組んでいく必要があります。また、項目⑤の家庭学習についても、継続的な指導が必要だと考えます。

学校満足度について 《保護者対象の質問内容》



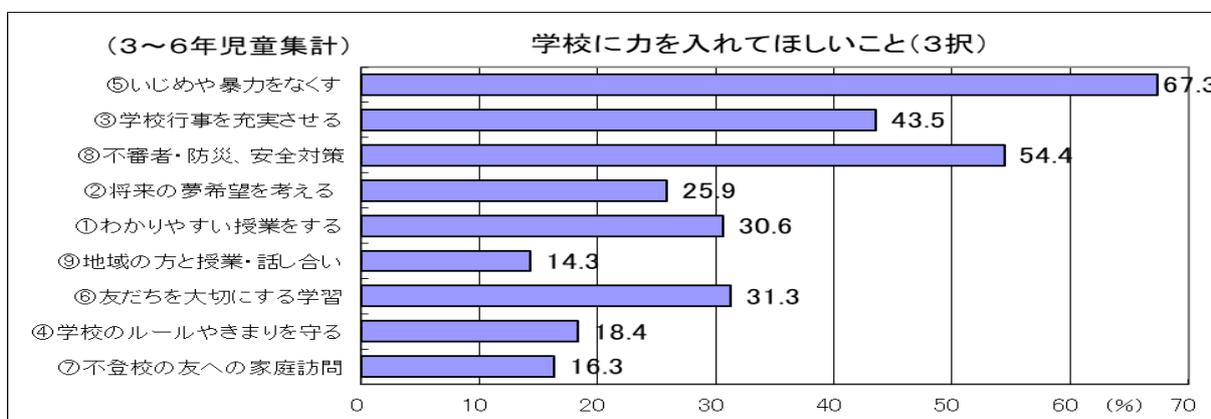
全ての項目で70%を超える肯定的評価を受けていますが、昨年度と同様、項目④の家庭学習、項目⑤の教職員に気軽に相談しているかが低くなっています。ほとんどの家庭が学校の教育活動に満足していただき、学級も楽しいと感じているという項目も90%を超えているため、学校の教育活動については、評価していただいていると考えます。

学校満足度について 《地域（地域学校協働本部推進委員）対象の質問内容》



この評価は地域学校協働本部推進委員の皆様からのものです。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、学校と地域が連携した取組を思うようにすすめることができませんでした。そのため、肯定的評価が低くなっていますが、地域の方への挨拶については、肯定的評価が100%と学校の取組に対して、地域の方からも評価をいただいています。

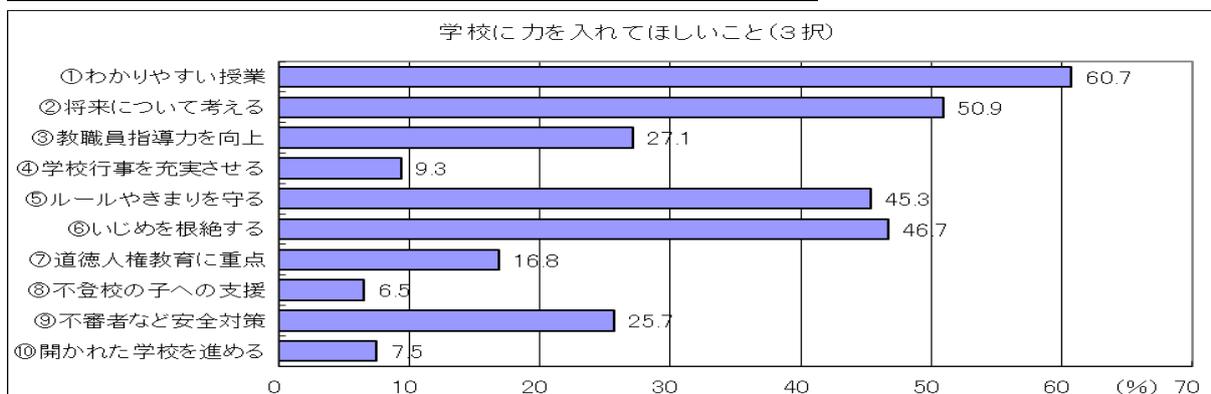
学校に力を入れてほしいこと（3つ選択） 《3～6年児童対象》



昨年度と同様、1番多いのが「いじめや暴力をなくす」次が「不審者・防災・安全対策」「学校行事を充実させる」と続いており、児童の要望は、例年と変わらない結果となっています。

学校に力を入れてほしいこと（3つ選択）

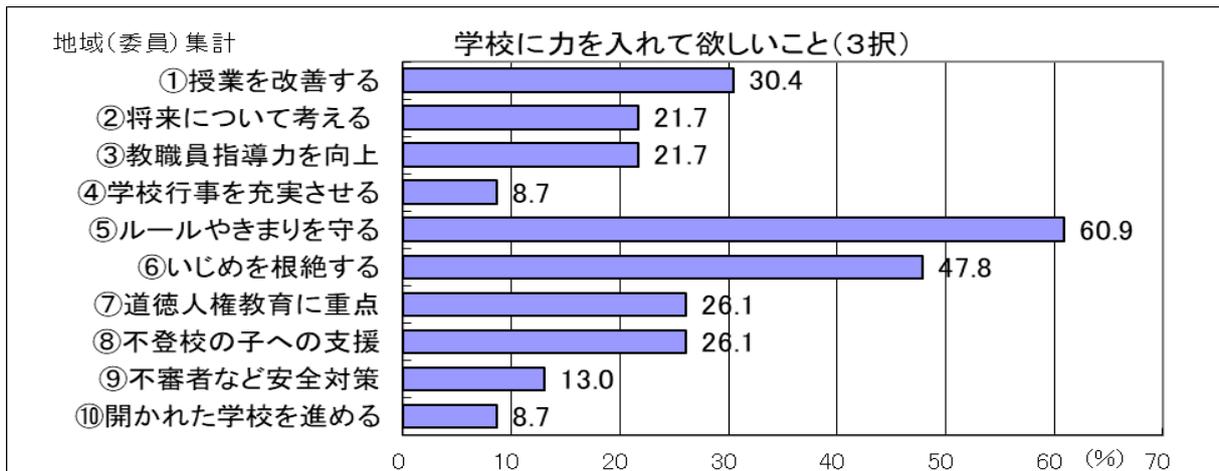
《保護者対象》



「わかりやすい授業をする」が最も多く、これまで以上に、授業力の向上を目指した取組を行っていく必要があります。すべての児童の学力を保障していくことが、教員の大切な責務であると考えていますので、来年度以降も様々な研修を通して授業力の向上を目指していきたいと考えています。また、「いじめを根絶する」「ルールやきまりを守る」についても、学校でも力を入れていますが、より規範意識を育てることが求められているように思います。

学校に力を入れてほしいこと（3つ選択）

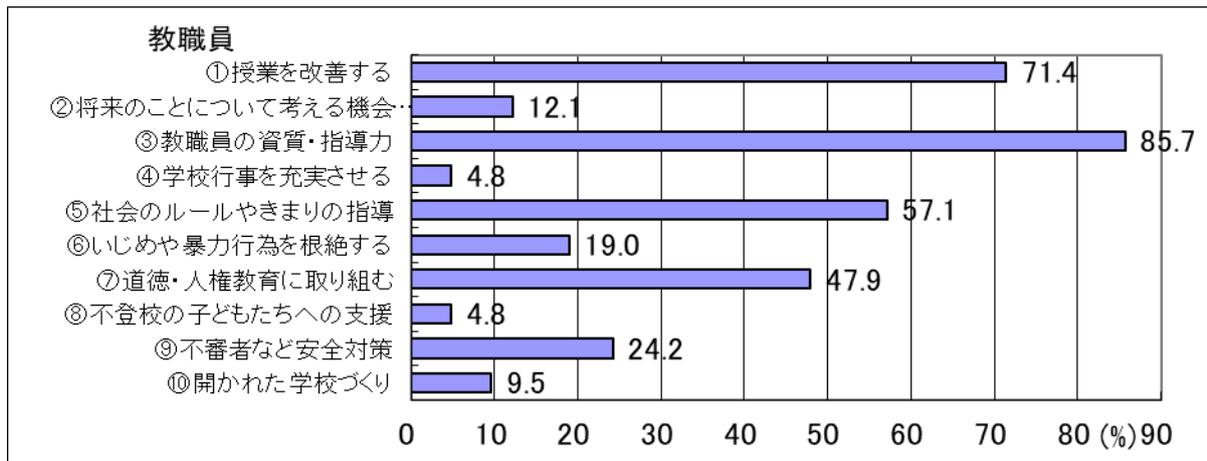
《地域（地域学校協働本部推進委員）》



地域の方の要望は、一番多いのが「ルールやきまりを守る」、続いて「いじめを根絶する」、「授業を改善する」でした。保護者同様に、地域の方からも規範意識を育てることが求められています。

学校が力を入れなくてはならないこと（3つ選択）

《教職員対象》



教職員の「学校が力を入れなくてはならないこと」と考えているのは、ほとんどの教職員が「教職員の資質・指導力の向上」「授業改善」となっています。児童、保護者、地域の要望に応えるべく、教職員も自分たちの力をつけていかなければならないと考えております。

他に自由記述についても、学校の教育活動に対して、多くの評価をいただきました。ありがとうございました。また、学校に対しての要望、改善すべき点等についても、ご意見をいただいております。これらのご意見を真摯に受け止めて、改善すべき点は改善していきながら来年度の教育活動を行っていきたいと考えています。

これらの学校評価の結果を受け、保護者の皆様や地域の方々の期待に応えるべく、取組を見直し、改善を図りながら、子どもたちにとって充実した学校生活となるよう来年度も全教職員で努めてまいります。

